

文書課長 平

明治四拾四年三月廿壹日接受

69

尾 仁

明治四拾四年三月二〇日起草
同 年 四月一日發遣

別紙

機密 第二〇號

第 一 課

主任

栗 本 長 草

主管

機密

政務局長

在 安 東

木 部 領 事 充

明治四拾四年四月廿一日

鴨 綠 江 右 岸 状 况

西十四年三月四日配錄一部受

外 務 省

鴨綠江對岸狀況ニ関スル件ニ関シ
朝鮮總督府来信秘受ヲ九九
占歸年

第 二 項 第 一 號

明治四拾四年三月廿七日接受

主務政務局

明治四十四年三月廿七日
三月二十三日憲機第五九二號

鴨綠江對岸狀況

義州憲兵隊長報告要旨
秘受第996號

栗了

安東

要旨付

鴨綠江沿岸ニ於ケル吾防疫施設

對スル清國官民ノ誤解セル狀況

況左ノ如シ

一 寬甸縣古樓子(玉江鎮、對岸)ニ駐

屯スル巡警及民兵ハ、江岸部落

ニ出張シ常ニ吾官憲ノ行動ヲ

探リツツアルモ、如シ

十四年三月四日龍二部受

二 江岸ノ警備力ヲ嚴ニスル為本

月上旬ヨリ古樓子安東縣間及

古樓子長甸河口(清城鎮、對岸)間

ノ氣脈交通ヲ開始シ毎日交通

兵(乘馬)ヲ出シツ、アリ

三 鮮人ノ風評ヲ探知スルニ日本

ハ清國ト近キ將來ニ開戦アル

ハク之レカ準備トシテ鴨綠江

沿岸ニ監視哨ヲ配置シタルモ

ノニテハト病防疫施設トハ

一種ノ口實ニ過キスト清國官
 民間ニ喧傳シツツアリト
 四本月中旬義州分隊管下水口鎮
 監視哨受持区内ニ清國巡警官
 服ノ上ニ私服ヲ着用シ一見濃
 氏ニ装ヒ監視哨内ニ入り来リ
 我監視哨ノ行動ヲ視察セント
 シタルヲ以テ之ヲ追逐セリト
 以上ノ通ニシテ清國官憲ハペス
 ト防戩上法岸ニ予敵ノ監視哨ヲ

配置セルヲ誤解シ之ニ對抗的
 方針ヲ執リツ、アルモノ、如ク
 認メラル

本件報告通牒先

- | | | |
|------|---------|---------|
| 陸軍大臣 | 内務部長官 | 樞密院備司令官 |
| 外務大臣 | 外事局長 | 各憲兵隊長 |
| 總務監督 | 總務部長官 | 憲兵司令官 |
| 政務總監 | 軍司令官 | 関東憲兵隊長 |
| 參謀次長 | 関東都督參謀長 | |

明治四拾四年四月四日 接受

主管 政務局

第一課

受第 8421

如 送 可 也

三月廿一日 新患

三月三十日 午收 日 時 奉 天

官 外 新 患 無 午 收 八 時 五 十 分 奉 天

直 報

3-2597

0313

慶三月二十日午後一時五十分奉天
著リ 八時十分奉天町

拓殖局臨時防疫係完
關東都督府臨時防疫部長

電文訳

(一〇八) 来ハ四月一日ヨリ大石橋、四手街、
公主山、嶺、鶴冠山、安東縣ニ於ケル停留
所ヲ開始シ、往來乗車ヲ制限セリ
請國人(朝鮮人ヲ含ム)ヲ七日間停留、上
輸送スルコト、セリ、尚ホ本線ニ於テ停
留者ヲ安奉線ニ輸送セサルコトハ
從來ノ通りナリ。

0315

3-2597

南滿洲州管内		初發本縣計表		四月	四月三日新患
場所	附屬地内外ノ區別		計	日迄	
	内	外			
長春	115	2,488			發症日午後三時三十分 管内 新患 管内 新患 管内 新患
公主岭街	11	10			管内 新患 管内 新患 管内 新患
四平街	4				管内 新患 管内 新患 管内 新患
法庫門		185			管内 新患 管内 新患 管内 新患
開原	2	56			管内 新患 管内 新患 管内 新患
鉄嶺		98			管内 新患 管内 新患 管内 新患
春陽	13	2,025			管内 新患 管内 新患 管内 新患
遼陽		32			管内 新患 管内 新患 管内 新患
撫順	20	65			管内 新患 管内 新患 管内 新患
立山		6			管内 新患 管内 新患 管内 新患
大石橋		1			管内 新患 管内 新患 管内 新患
荒地	1				管内 新患 管内 新患 管内 新患
本溪湖	1	19			管内 新患 管内 新患 管内 新患
金州	3				管内 新患 管内 新患 管内 新患
旅順	2				管内 新患 管内 新患 管内 新患
大连	67				管内 新患 管内 新患 管内 新患
合計	239	5,129			管内 新患 管内 新患 管内 新患

四月三日調 初發本縣臨時防疫係

明治四拾四年四月四日 接受

主務政務局

第一課

8477

南滿洲ニ於ケルペスト患者數報告

四月三日午後一時五十二分奉天茂
口時十七分葵町著

管内外新患ニシ

如左

直封

明治四拾四年四月四日 接受

主務政務局

第一課

8420

南滿洲ニ於ケルペスト患者數報告

茂 四月一日午後五時廿五分 奉天
着 土時十分 葵町

如左

臨時防疫部長
拓殖司臨時防疫係

電文譯

管内新患 十二

管外新患

奉天城内外 三 法庫明一

合計 管内十二
管外四

直封

南滿洲州外港埠物産以果計表 四月一日迄

場所	面積		摘要
	内	外	
長春	115	2,488	
公主嶺	11	10	
四平街	4		
昌圖		185	
法庫門		145	
開原	2	56	
鐵嶺		98	
齊天	13	2,024	
遼陽		32	
撫順	20	65	
安東		6	
大柵橋		1	
荒地嶺	1		
本溪湖	1	17	
金州	3		
旅順	2		
大連	67		
合計	239	5,128	

四月二日調査 拓殖司臨時隊復係

通

管内外新患

明治四拾四年四月五日接獲
善管政務局
南滿洲ニ於ケルペスト患者救報告
茂四月四日午後二時十二分奉天
著、八時五十分葵町

8511

如

3-2597

0318

明治四拾四年四月五日 接

主務政務局

着 四月二日午後五時
八時

宮内省

格順

8514

格順

内閣總理大臣

大島閣東都督

電文譯

ペスト豫防ノ爲ノ設置セシ普蘭店及金
州地狭監視哨ハ四月四日限リ撤去ス

血

明治四拾四年四月六日 接受

警務局

第一課
受第 8680 號

血 子 貼

南滿洲ニ於ケルペスト患者教報告

四月五日、新患

共設 四月五日午後二時

奉天

著

六時四十分發町

竹管内外新患ナシ

明治四拾四年四月六日 接受

關防第四〇九九號

警務局

8596

第一課

四月一日ヨリ大石橋、四平街、公主嶺、鷄冠山、安東縣ニ於ケル停留所ヲ開始シ從來乗車ヲ制限シアリシ清國人(朝鮮人ヲ含ム)ヲ七日間停留ノ上輸送スルコト、教候尚本線ニ於テ停留シタル者ヲ安奉線ニ輸送セサルコトハ從來通

血 子 貼

通

有之候右為念及通報候也

明治四十四年三月三十一日

関東都督府臨時防疫部

外 子 貼

文書課長
明治四拾四年四月六日 第 94
海軍省

明治四拾四年四月五日 起
同日 發遣

機密送第一六號

第一課

主任

明治四拾四年四月十日 發

政務局長

機密

在 間 嶋

小村大臣

白 如

永瀧總領事宛

鴨綠江右岸露清領ニ於テ之景徒

其他ノ状況ニ関スル件

外務省

四十四年四月十二日 録 四十四年四月十一日 録 一部受

第 第 第
項 門 第
號

鴨綠江右岸露清領ニ於テ之景徒
其他ノ状況ニ関スル件 朝鮮總督
府來信種交第一〇六六號 案

明治四拾四年四月四日 接受

三月二十日

憲機第六二五號

警政務局

第一課

秘受第一〇六六號

對岸露清領於ル暴徒其他狀況開示件

鏡城憲兵隊長報告要旨

要旨付

慶興分隊長ヨリ豆満江對岸露清

領於ル狀況偵察ノ為ノ三月

八日慶興出發五家子煙秋方面ハ

遣ミタル密偵三月十七日歸隊其

齋レタル狀況左ノ如シ

一 清領五家子蛤什蜆溝方面ニ於

テハ依然暴徒ニ關シ何等風説

四十四年四月十一日記録一部受

ガニナリ至極平穩ナリ

二 五家子居住姜昌斗ハ朴道銓等

ノ經營ニ係ル牛商會ノ役員ト

ナリ專心諳業ニ從事セリ然ル

ニ今地方人民ニ於テモ姜ノ公

會ニ關係セルヲ別ニ厭忌スル

ノ狀態ナシ

三 昨今防戩ニ關シ露國境ハ多少

交通ノ不自由ニナリタルト季

節ノ關係上生牛ノ五家子ヲ通

Handwritten signature and date

過スルモ去ル一月頃ニ比シ
若干其數ヲ減シタルノ状況ナ
リト

四、露國ニ於テハ二月中旬ヨリ清
鮮國境一帶ノ地ニ軍隊ヲ派遣
シ防疫警戒最モ嚴重ニシテ
什蟻溝東北方約三里ノフシキスキ
哨所ニハ檢渡所ヲ設ケ会所ヨ
リ各要地ニ檢渡員ヲ派シ全國
ノ為ノ所要ノ人又ハ物品ノ外

ハ交通遮断ヲ法ヲ執リ居レリ
五、以上ノ状況ニ付密偵ハ盛領ニ
入ルノ至難ナルヲ以テ三月十
日夜哨兵ノ隙ニ乘シ露領内ニ
侵入シ漸ク煙秋ニ到リタルニ
各地ハ檢渡的ノ口調査等嚴重
ニシテ滞在スルヲ得ズ一泊ノ
上翌十一日夜鮮人ノミ居任ス
ル下ヤンチニ到リタルニ各地ニ
於テモ軍人入込ミアリテ檢渡

ノ外大清潔法ノ實施等アリタ
ルモ暴徒ノ闖スル風評ガナ
カリキ

六、露國官憲ノ命令ナリト云フヲ
聞クニ左ノ如シ

人今回哈爾濱ニ於テ流行セル
ペスト病原ハ今地居住ノ鮮人
ナリ然ルニ之ガ殆ノ既ニ一
万戸以上ノ家屋ヲ破壊スル
ニ至リ此損壞價格實ニ何十

万圓ニ達ス故ニ若シ当地方
ニ於テ該病者ヲ發見セバ患
者ニ勿論附近ノ者ヲモ悉ク
銃殺スベシ依テ露領ノ在任
ヲ望マサル片ニ國境外ニ退
去スベシト

右ニ付同地方及滿洲方面居住
ノ鮮人中財産ヲ有スル者ニ之
ガ廢置ニ又財産ナキ者ニ豫費
ニ窮スルノ有様ニシテ一般國

外移住ヲ欲シ大ニ苦ミツ、ア

以上

本件報告通報先

陸軍大臣 外務大臣 参謀次長 憲兵司令官

総督 政務總監 總務部長 外事局長

内務部長 各憲兵隊長

軍司令官 捕部準備司令官

3-2597

0325

明治四拾四年四月八日接受

警務局

明治四拾四年四月八日 憲機第646號

國境雜件

秘受第1/54號

信五

卯二七

近 日 平 安 北 道 高 山 鎮 (鴨 綠 江 岸 江 界 郡)

ヨリ 歸 來 セ ル 日 人 某 ノ 語 ル 如 左

ノ 如 シ

一 平 安 北 道 江 界 郡 一 帶 ノ 對 岸 清

領 二 ハ 江 岸 二 沿 フ テ 濃 密 二 巡

警 ヲ 配 置 シ 怡 毛 朝 鮮 内 地 ヨリ

ノ 侵 入 者 ヲ 監 視 シ ツ 、 ア ル ノ

状 態 十 四 年 四 月 十 一 日 記 録 一 部 受

四十四年四月十一日記錄一部受

第 第
項 類 門 第
號

ヲ 裁 エ ル モ ノ ア ラ ン カ 朕 力 ニ
訴 ヘ テ モ 之 ヲ 遮 断 ス ル ノ 有 様
ナリ 要 ス ル ニ 彼 等 ノ 防 破 ノ 目
的 ニ ア ラ ス シ テ 日 本 政 府 卽 防
破 上 國 境 ヲ 監 視 シ ツ 、 ア レ ハ
吾 亦 監 視 ヲ 為 シ 日 鮮 人 ノ 侵 入
ヲ 防 止 シ 對 等 ノ 行 動 ヲ 為 サ ン
ト 企 圖 セ ル 由 ル モ ノ 如 シ
二 楚 山 江 界 對 岸 支 那 人 ハ 一 般
ニ パ ス ト ハ 日 本 人 が 井 中 二 毒 藥 ヲ

3-2597

0326

投入シタル結果ナリトノ説ヲ
今尚ホ倍シツ、アリ
三國境一帶對岸ノ支那人ハ一般
ニ利權回收熱盛ナリ
以上

本件報告通報先

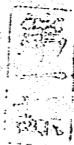
- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 陸軍大臣 | 外務大臣 | 参謀總長 | 憲兵司令官 |
| 總督 | 政務總監 | 總務部長 | 内務部長 |
| 外務局長 | 各處長 | 關東軍團長 | 安東鎮守使 |
| 軍司令官 | 北滿司令官 | 都督 | |

關東軍團長

明治四拾四年四月八日 接

警務局

受第 8930 號



山東 苦力「パス」止 四種病、件
四月六日午 前十四時 奉天
着 午後五時 奉天

臨時防疫部 防疫課長

拓殖司 第二部長

山崎了悟

通

電文譯

(二六) 克二日 日清丸 芝罘 手 輸送 大
房身 叔 容 中、苦力 一名 昨日 乘 船 赴 三
十九度 且 フ 略 血 了、昨日 午後 檢 鏡、結果
眞性「パス」決定 不 右、公表 せ 不

内局

明治四拾四年四月八日 接受

主務政務局

第 8929 號

南滿洲之植志ハスト志者教報告

四月八日 新巻

其度四月八日午後三時三十分迄午後

九時迄ハ志者教報告

追テ 外新巻ハ

今迄新巻者無キ指合ニ別ニ報告續ク

左折介ヲ知和成ハ在在段中添フ事也

血反子格

3-2597

0329

明治四拾四年四月八日 接受

主管 政務局



ペスト防疫施設報告書 其十三

關東都督府臨時防疫部

3-2597

0330

ベネト防疫施設報告 (其十三)

前報告以降即チ本月六日ヨリ十日ニ至ル五日間ニ於テベネト防疫ニ關シ當部ノ施設シタル事項並同件ニ關シ各方面ヨリ得タル通報等ノ要旨ヲ列舉スルコト左ノ如シ

一、關東州ニ來航シ船舶取締ニ關スル件 (明治四十四年三月六日)

關東州ニ來航シ船舶取締ニ關スル件左ノ通定ム

當分ノ内ベネト流行地ト認ムル地方ヨリ關東州ニ來航スル船舶ハ大連港ノ外乗客ノ上陸ヲ禁止シ且所轄民政署長ヲ指定シ該場所以外ニ於テ荷物ノ陸揚又ハ寄泊ヲ爲スコトヲ得

前項指定ノ場所ニ於テ一週間以上停船シ又ハ警察官吏ヲ承認シ經タル船舶ハ乗客ハ之ヲ其ノ地點ニ上陸セシムルコトヲ得

船員ハ大連港ニ在リテハ當該官憲ヲ承認シ經タル者第一項指定ノ場所ニ在リテハ一週間以上停船シタル者ニ限リ之ヲ上陸セシムルコトヲ得

本令ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ拘留若シテ科料ニ處テ該處ニ留置スルコトヲ得

附則 本令ニ公布之日ヨリ之ヲ施行スルニ付

- 十、疫醫ヲ每週六回出張セシメ一般衛生状態ヲ視察及苦力等ヲ健康診断ヲ施行セシメ其狀況ヲ一週間毎ニ報告セシムルコトトシ各支部ニ出張所(大連及旅順 港ヲ除ク)ニ通牒セリ (三月九日)
- 十一、長春奉天撫順安東縣營口ニ隔離病舎附屬細菌検査室ヲ建築スルコトニ決定シ工事費一箇所約千五百圓ヲ豫算ヲ以テ起工方及右以外ノ各地ニ新設スヘキ隔離病舎内ニ二間ニ三間ノ試験室加設方ヲ滿鐵會社ニ委託セリ (三月十日)
- 十二、二月一日哈爾濱總領事ヨリ外務大臣ニ報告ニ依リハ露都ニ於テ二月廿四日防疫會議ヲ開キ東清鐵道附屬地ニ於テ防疫施設ニ關シ左記ノ事項(要點)ヲ決議シタル由リトス
- (一) 東清鐵道ニヨリ輸送スル旅客及貨物並ニ哈爾濱ヨリ發送スル小包郵便物ノ取扱方ニ關シテハ細菌學者及傳染病學者ノ會議ニ依リ提供シタル手段ヲモテ施行スルコトトシ
- (二) 前項ノ趣旨ニ從ヒ三四等清國旅客ハ哈爾濱ヨリ輸送スルコトヲ停止シタル鐵道廳ノ現行處置ヲ撤廢スルコト但ハ爾濱ヨリ「ボグラーニナヤ」驛乃至其以東ニ赴ク清國人ハ同等級旅客ニ對シ乗車券發賣セサルコトトシ
- (三) 病況如何ニ據リ其必要ニ應ジ隔離所及避病院ヲ新設シ又ハ現在ノモノヲ擴張スルコトヲ鐵道廳ニ委任スルコトトシ
- (四) 在浦鹽陸軍倉庫ヨリ衛生及消毒材料ヲ鐵道廳ニ供給シ之ヲ其處置ノ下ニ置クコトトシ
- (五) 警察力ヲ以テ哈爾濱ヲ封鎖スル鐵道廳ノ處置ヲ認許シ且ツ其效果ヲ收メシカ爲通行人

- 十三、對スル監視ヲ層層嚴格ニ交通路ヲ增加シ及監視員ヲ增加セシムルコトヲ旨トシ
- (六) 哈爾濱各區ニ於テ防疫隔離及檢疫施設ヲ出來得ル丈ハ大規模ニ整備擴張スルコトヲ鐵道廳總司令官ヨリ各支隊ニ命ジテ其旨ヲ遵ヒテ防疫施設ヲ整備スルコトトシ
- (七) 陸軍衛生總監及內務省醫務總監ヲ補助シテ下ニ醫師及衛生員ノ必要員數ヲ速ニ採用シ沿線各地ニ急派スルコトヲ東清鐵道本社ニ委任スルコト
- (八) 鐵道使用ヲ清國人勞動者ヲシテ傳家尙ト共切交通ヲ斷ズ且ツ成ルベク該勞動者ヲシテハ爾濱中央市區ニ出入セシムルコトヲ爲ス必要ナル處置ヲ執ルコトトシ
- (九) 哈爾濱市内ニ於テ防疫事業上市以各機關ヲシテ最モ廣ク參與セシムルコトノ必要ニ付鐵道長官ヲ注意ヲ喚起スルコト但シ同長官ヲシテ防疫施設ノ方法ニ對シ大體ノ指揮ヲナシ其適否ヲ監視シ且鐵道ノ支出スヘキ金額ノ使途ニ對シ監督ヲナサシムルコト
- (十) 鐵道附屬地域内松花江米匪其他同地域内各處ニ遺棄シタル清國人ノ死體ヲ發見收容シ即時燒棄スヘキ手段ヲ執ルコト
- (十一) 防疫事業ニ從事スル地方行政吏員ノ勤勞ニ對シテハ十分ナル謝意ヲ表示スルコトトシ細菌學者及傳染病學者ノ會議カ東清鐵道取扱旅客及貨物ノ豫防方法ニ關シ規定スル所左ノ如シ
- (1) 隔離所ヲ有スル鐵道各驛ニ於テ五日間隔離シ後清國人ノ乘車ヲ許可シ又隔離所

(1) 有該各驛ニ於テ成ル可ク檢温ヲ施シ一般の検査施行後於テ乘車ヲ許可ス
ルヘキコト也

齊々哈爾阿什河ニ如クベスト患者ヲ出シタル清國市邑ヨリ病毒ヲ傳播ス豫防セシガ
爲其最寄驛ニ於テ特別隔離所ヲ設テ清國人ハ一時之ヲ同所ニ收容シ上乗車ヲ許可ス
答ル旨海關總署ニテ通知ス

(2) 貨物ノ輸送ニ關シテ萬國條約ニ依リ規定セラレタル品目表ニ從ヒ病毒媒介ノ危險
アル貨物ニ限リ輸送ヲ禁止スルコト

右制限物品以外ノ貨物ヲベスト流行地方ヨリ搬送スル場合ニ於テハ單ニ其包裝ノ外
部ニ消毒ヲ施スカ如キ病毒附着ノ疑アル時ニ於ケル豫防方法ヲ執ルコト

(3) 小包郵便物ハ醫員ノ立會ヲ以テ哈爾濱郵便局ヨリ發送スルコト該醫員ハ同郵便物
ヲ検査シ危險ヲ虞アルモノハ之ヲ抑留シ其他ノモノハ検査済ノ檢印ヲ施シ發送セシ
海關抑留小包ヲ消毒シ止發送ヲ許ス

十三、二月二十日在哈爾濱總領事ヨリ外務大臣ヘノ報告ニ依レハベスト死亡者數ハ清國官
憲消息正確ノ報告無キヲ以テ其計數ニ依リ病毒蔓延ノ程度ヲ判知スルハ頗ル困難ナルモ
各種ノ情報等ニ依リ推測スレハ阿什河及賓州ニハ月中旬ヨリ流行シ死者各少クモ一千
名ヲ下ラサ爾處ク雙城堡ハ病勢猛烈ニシテ毎日死者七八十名ヲ下ラサルニ付初發以來ノ

總數ハ一千名ヨリ少ナカラス伯都訥モ五百名内外ニシテ呼蘭府ハ今日迄ノ實數五千名ト
見テ得ヘク北團林子ハ日々六七十名通肯(海倫府)ハ日々四五十名ノ死亡者ヲ出スノ現
狀ヨリ判斷スレハ各一千名ト算スルモ過當ナラズ之レニ哈爾濱東清鐵道附屬地及傳家甸
以死者約七千三百九名ヲ(二月十二日迄ノ計數ニ)合スレハ一萬七千名ニ達スヘク其外鐵道沿
線以外ノ村落ハ通信機關ノ不備ニヨリ確固タル情報ニ接セサルモ其流行頗ル猖獗ニシテ
時々一村全滅ノ箇所少ナカラサル趣ナルヲ以テ前記諸都市以外北滿洲内部ニ於ケル死亡
者總數ハ之ヲ極内輪ニ見積ルモ五千名ヲ下ルコトナカルヘシ以上ノ概算ニ依リ北滿洲全
體ヲ通シテ最少ニ萬二千名ト計上スルヲ得ヘシ云々

十四、左ノ通報ニ接セリ (三月六日)
浦鹽方面防疫施設ノ件浦鹽總領事ヨリ外務大臣ヘ報告ノ抄録

北滿地方ノベスト病ハ今尙猖獗ヲ極ムルヲ以テ當市ニ於テハ屢臨時市會ヲ開催シ防疫
方法ヲ研究シタル末豫防費ニ萬五千留ヲ支出スルコトニ決シ清韓勞動者住所ノ清潔法
ヲ施行シベスト流行地及其附近ヨリ來ル前記勞動者ノ入國ヲ嚴禁シタル爲メ未タ一名
ノ患者ヲ出サス其防疫手段ハ左ノ如シ
(1) 清韓勞動者ノ東清鐵道ニ依リ沿海州ニ來ルモノハ「ボグラニ」ナナヤ「驛」ニ於テ五
日間隔離シ消毒及健康診斷ノ上入國セシム

- (2) 以下流行地及其附近ヨリ來ル生皮及襪、家畜ハ一切輸入ヲ禁ス
 - (3) 芝罘港ヨリ來ル船舶ニ對シ檢疫ヲ施行シ五日間停船ヲ爲ス
 - (4) 東清鐵道線ヲ旅行スル清國人ハ途中健康診斷ヲ爲ス
 - (5) 哈爾濱ヲ經由シテ當地ニ向フ旅客列車ノ三四等客ハ「ボグラーニ」チナヤ」驛ニ於テ乗換ヘサシム
 - (6) 輝春ニベスト發生ニ付軍隊ヲ以テ警戒シ清韓勞働者ハ一切露領ニ入ラシメス其他ノ黃色人種ハ國境檢疫所ニ於テ五日間隔離ノ上ハ國ヲ許ス
 - (7) 沿海州ハ醫師ヲ韓興、輝春、「ボグラーニ」チナヤ」驛ニ派シ鐵道旅客ノ檢疫ヲ施行ス
 - (8) 東清鐵道ノ急行列車及郵便車ニハ一切清國勞働者ヲ乗車セシメス
 - (9) 東清鐵道其他ノ列車ハ旅客乗車前消毒ヲ行フ
- 十五、左ノ通報ニ接セリ (三月六日)
- 二月廿八日新義州ニ於ケル隔離所收容日人三名解放日人十五名鮮人二名現在五十三名朝鮮總督府警務總長ヨリ鐵道局小城技師ヘ通牒ノ要領左ノ如シ
- ベスト豫防ニ關スル消毒法ハ滿洲ノベスト狀況形勢一變セザル限リハ左記ノ方法ニ依ルヲ適當ト認ム
- (一) 檢疫ニ從事スル職員並旅客ノ身體及其他ハ患者ニ接近シタル場合ハ外藥液消毒ニ及

- ハス但新義州等ノ隔離所ニ於テハ有毒地ヲ通過シ來ル旅客ノ被服ハ「フオルマリン」消毒ヲ有効ニ施行ス
- (二) 官衙其他ノ入口ニ設ケアル靴底消毒盤ハ廢止スルヲ可トス
 - (三) 海陸共輸入許可貨物ニ對シテハ一切藥液消毒ニ及バズ
 - (四) 貨物中齧鼠ヲ混入セルカ又ハ鼠ノ侵入セル形跡ヲ認メタルトキハ其一梱包若ハ最近接シ若干梱包ニ對シ消毒ヲ行フヘシ
 - (六) 清潔及消毒方法ハ明治三十年五月內務省令第十三號ノ規定ニ據ルヘシ
- 十六、旅順支部長ヨリ報告ニ係ル二月十六日ヨリ二十八日ニ至ル間同支部ノ施設狀況ニ依レハ部内住民ニ對スル豫防注意トシテ醫務囑託ヲシテ各地ニ講話ヲ大サシメ檢病的ノ戸口調査ト捕鼠獎勵ニ努メ三月廿一日ヨリ捕鼠班ヲ組織シテ部署ヲ定メテ勵行シ馬車人力車ノ消毒ハ二月十八日限りニ廢止シ沿岸取締ハ各要所ニ壯丁監視所ヲ設置シ尙陸路他管内ヨリ來リ込込者ノ警戒トシテ曩ニ各村落ニ設ケタル五十二箇所ノ壯丁監視所ハ旅順市周圍ノ兵員監視哨ヲ二月廿七日撤廢セラレト同時ニ内八箇所ヲ存置シテ他ハ之ヲ撤廢シ從テ苦力ノ取締ヲ一層嚴ニスル様部員ヲ督勵シツバアリ又新築サルベキ旅順隔離所ハ旅順市外桃園町療病院ノ北方官有地ヲ撰定シ三月二十四日其工事ニ着手セリ
- 十七、在法庫門防疫會清國顧問醫守田福松ノ通信ニ依ルニ同地方ノ病勢漸次衰退シ市内ハ

新患發生セザルコト已ニ十日ニ及ヒ只僅ニ隔離所内ニ時々發生スル田舎部落ニ患者アルニ不過一時ハ毎日十餘名ノ死者ヲ出シタルニ今如此衰退シタルハ官民共ニ防疫上ノ行動ヲ贊助盡瘁セラレタルノ結果ニシテ特ニ知府ノ盡力其効尠少ナラス云々依テ防疫部長ヨリ知府ニ對シテ特ニ贊賞ノ辭ヲ電信シタルニ賞贊ニ預リ慚愧且ツ感激スル事名狀スヘキモツナシ病勢漸次撲滅シ深ク守田醫士ノ臂助ヲ力ニ信賴ス各團體感謝ニ不勝云々トノ謝電ヲ送り來レリ (三月六日)

十八、左ノ報告ニ接セリ (三月六日)

長春ニ於ケル清國巡警局ニ拘禁中ノ囚徒日々ベストニ罹リ死亡スルモノ其數三十餘名ニ及ヒタルヲ以テ何知府ハ吉林提法司ニ一年以下ノ輕罪囚ヲ解放セシコトヲ具申シ許可セラレタルヲ以テ二月十八日ヨリ三月四日迄ニ輕罪囚徒二十三名ヲ解放シタリ而シテ目下拘禁中ノ囚徒モ漸次解放スル筈ナリ

十九、左ノ報告ニ接セリ (三月七日)

昌圖鐵道附屬地隣接河北(附屬地外)ノ大消毒ハ交渉ノ結果清國官憲ニ於テ三月五日之ヲ施行セリ其戸數ハ十一戸ニシテ人口五十六名ヲ全部屋外ニ集メテ消毒ヲ行ヒタル後家屋家具其ノ他ノ藥物消毒ヲ終リ家具被服類ハ更ニ日光消毒ヲ爲サシム然ルニ住民ハ消毒ヲ嫌ヒ外避ヲ企テタルモ清國巡警及我警察官吏ヲ警戒ニ依リ實行スルコトヲ得タレトモ内

一戸ハ遂ニ逃避セリ又該部落ニ隣接セル一部落ノ消毒ヲ行ハントモ住民ハ未タ惡疫發生ノ事實無キ故ヲ以テ拒絕シタル爲遂ニ實行シ得ザリ云々 (三月七日)

二十、左ノ報告ニ接セリ (三月七日)
昌圖ニ於ケル清國消毒隊ノ一行ハ目下三班(十二名)ハ昌圖城内ニ在リ他ノ一班ハ金溝子ヨリ昌圖街道附近村落ノ消毒ヲ爲シ昌圖城内ニ向ヒ城内三班中ノ一班ハ昌圖ヨリ西方一體ノ消毒ヲ行ヒ城内ニ集合スヘシ他ノ二班ハ三月六日金家屯(昌圖城西)ニ向フ同班ハ該地方一體ノ消毒ヲ行ヒ更ニ大窪、八面城及其附近ニ至ル又金溝子ヨリ昌圖ニ向ヒタル二班ハ尙鷺鷥樹、四平街方面ニ向フ筈ナリ而シテ消毒隊長鐵嶺徐知縣ヲ率フ消毒班ハ配置左ノ如シ

- 一 昌圖城及附近 四箇班
- 一 鄭家屯附近 二箇班
- 一 開原管内 一箇班
- 一 拘鹿方面 一箇班

以上六箇班ハ十名乃至十二名

二十一、左ノ報告ニ接セリ (三月七日)

清國官憲ノ交通遮斷ハ下ニ臺、鷺鷥樹、大窪、八面城、四平街等ニ特産物荷馬車等一切ヲ遮

斷ヲ實行セシ爲双廟子驛ノ如キハ輸出特産物皆無下ナリタルモ三月五日ヨリ特産物荷馬車ノ遮斷ヲ解キタルヲ以テ出荷増加セリ

二十三、左ノ報告ニ接セリ(三月七日)

本日豫定ノ通り長春西門外大佛寺傳染病院病室五棟ノ消毒ヲ實行シ之レニテ同院全部ノ消毒ヲ完了セリ清國側ハ大ニ満足ノ意ヲ表シ一兩日ヲ經テ再ヒ患者收容ヲ開始シ將來ハペスト收容所トシテハ本院ノミヲ使用シ他ノ傳染病院ハ全然閉鎖スト云フ云々

二十三、左ノ通報ニ接セリ(三月八日)

在間島帝國總領事館ノ調査ニ依レハ左ノ如シ

- (一) 哈爾巴嶺ニ於ケル防疫ノ實況ハ同嶺麓ノ檢疫所ニハ醫師及事務員詰切リ巡防隊兵路傍ニ見張りヲ爲シ吉林及敦化方面ヨリノ通行者ニ對シ嚴重ニ遮斷ヲ行ヒ官員兵卒及公文書遞送人ノ如キモ充分消毒ヲ施シ五日間停留セシメツ、アリ
- (二) 吉林城ヨリ局子街ニ來ル馬車ハ一切吉林ニテ前進ヲ差止尙哈爾巴嶺ニ於テモ馬車ノ通過ヲ嚴禁シ居レリ
- (三) 輝春ニ於テモ專ラ豫防法ヲ實施シ捕鼠ノ檢菌ヲ施行ス
- (四) 間島ニ於テモ清國官憲ト協力豫防法ヲ施行ニ努メ豫防ニ關スル十五箇條ノ注意事項ヲ印刷シ之ヲ間島領事館管内ヨリ日鮮人ニ配付シ大清潔法ヲ施行シ捕鼠ノ檢菌ヲ行フ

(五) 間島及局子街在留本邦醫學士三名ハ清國官憲ヨリ臨時防疫顧問ヲ囑託セラレ豫防上ノ指導ヲ任セ當リ居リ

(六) 本邦防疫委員發起ニテ募集セシ第一回ノ寄附金ハ間島貳百餘圓局子街百圓ヲ醜集シ豫防消毒上必要ナル器具其他ヲ購入ヲ爲シタリ

- 二十四、左ノ報告ニ接セリ(三月八日)
- 奉天商務會ハ曩ニ清國防疫事務所ニ反抗シ別ニ防疫機關ヲ組織シ防疫事務ヲ施行セシモ其ノ成績不良ナリシ爲防疫事務所正協定ノ上統一スルコトヲナリ同會設立ニ係ルニ箇所ハ病院ニ收容セル三十六名ノ患者ハ防疫事務所ヨリ醫師ヲ派遣シ診斷シ結果全部ペストニ非カルコトヲ判明シ漸次歸宅セシメ大北邊門外病院ハ目下一名ノ患者無シ小南邊門病院ハ三名残存セルモ三月七日歸宅セシメ兩院共不日閉鎖スル由
- 二十五、左ノ報告ニ接セリ(三月八日)
- 昌圖附近各地ニ於ケル三月二日ヨリ同六日ニ至ルペスト患者ハ藍靑樹七、四平街六、雷金家屯五、寶力屯五、亮中橋一、通江口三、合計五六ナリ
- 二十六、左ノ報告ニ接セリ(三月八日)
- 公主嶺ニ於ケル大豆出廻高日々二千石内外ニシテ殆シト舊體ニ復シタルカ如シ長春モ本日ノ分二千五百石位ナルハ是亦昨今漸次増加ノ姿ナリ

二十七、左ノ報告ニ接セリ (三月八日)
 近來清國側ノ通報ニ依リハ長春ニ於ケルベスト死亡者著シク減少シタルモノヲ如クガ
 モ之ヲ探知スル處ニ依リハ死體ノ火葬ヲ厭忌スルモノノ上下ヲ通シテ多ク從テ此等愚民ハ
 死亡者ヲ窃カニ床下ニ埋メ或ハ僧侶ヲ結托シテ廟宇ニ擱置スルモノ續出スルノ状態ナリ
 然レドモ清國官憲ニ於テハ我カ指導ヲ納レ長春城内外ノ交通遮斷ヲ行ヒ且嚴重ナル消毒
 法ヲ施行スル爲今尙營業休止ノ状態ニシテ交通殆ント杜絶ノ有様ナルニヨリ病毒ノ傳播
 ナキキタルハ事實ニシテ三月中旬頃ニ比スレハ約三分ノ二減少セシナランモ之レ單ニ長
 春城内ノ比較ニシテ城外知府管轄部落ハ依然猖獗ヲ極ム然ルニ長春防疫總局ハ城内及商
 埠地ノミニ全力ヲ注キ附近部落ヲ豫防機關無キニ依リ自然消滅ヲ期待スルノ外ナシ而シ
 テ初發以來清國官憲ヨリ我官憲ニ通報シタル死亡者累計三月四日迄ニ二千九百九十七名ナ
 ルモ本月一日迄ニ老虎溝火葬場ニ於テ火葬シタルモノハ四千〇六十一名ニ達スルヲ以テ
 該通報ハ誤報ナリ尤モ四千餘名ノ火葬者中ニハ餓死凍死セルモノヲモ包含スヘキニ付彼
 此綜合スル時ハ三千餘名ノ死者アリタルガラン

二十八、左ノ報告ニ接セリ (三月八日)
 長春西門外中國疫病院(ベスト)患者收容所院長ハ去ル一日ベストニ罹リ死亡シ其ノ他ノ
 醫員看護夫等モ續テベストニ罹リ職員十九名中本月四日迄ニ十八名死亡セシヲ以テ同

病院ハ三月七日閉鎖セリ

二十九、左ノ報告ニ接セリ (三月八日)

長春城内ノベスト患者發生家屋ヨリ持チ來リタル犬ノ屍體ヲ試驗ノ結果ベスト菌ヲ發見
 セリ

三十、左ノ報告ニ接セリ (三月九日)

旅順入港ノ戎克船取締方ニ付旅順支部及海軍檢疫所ト協議シ上左ノ通り決定三月六日ヨ
 リ實施セリ

一、ベスト流行地ヨリ旅順ニ入港スル戎克船ノ船員ハ七日間上陸ヲ禁シ其期間内ニ於ケ
 ル商取引ノ交渉貨物ノ積卸船員飲食物ノ補給其他陸上ヘノ用辨ハ一切之ヲ旅順公議會
 ランテ取扱ハシム

三十一、左ノ電報ニ接セリ (三月十日)

本日午前長春支部ニ於テ支部長以下委員ト會合諸般ノ打合セヲ爲ス支部員ハ健康状態良
 好シテ何レモ熱心ニ執務シ居ルヲ認ム次ニ隔離所其他ノ施設ヲ視察ス汽車乘客ノ停留
 者二十五名アリ正午長春道臺ヲ訪問シタルニ長春ハ日々五十名内外ノ新患ヲ生シ附近部
 落至今日迄ハ多數ノ患者ヲ生セシ云ヘリ

午後清國以隔離所七箇所ノ内三箇所ヲ視察ス中三箇所ハ各隔離者四十名ヲ有シ其ハ百三

十餘名ヲ收容シ居リ隔離所トシテハ二下通りヲ設備ヲ備ヘ掃除等行届キ居ルモ消毒ハ主
ニ石灰ヲ撒布スルヲシテ不充分ト認メラル上等室婦人室等ニハ夫々相當ノ設備
ヲナシ居レリ避病者ハ現患六名アリ次ニ長春城ノ西方一里余老虎溝ニ於ケル火葬ノ設備
ヲ視ルニ三日間ニ集積シタル屍體百四十ヲ算シ外ニ馬ノ屍體四個ヲ積ミ重テ居ルヲ見ル
四日毎ニ之ヲ焼却ス下云フ尤モ右ハ長春城内及附近村落ヨリ集收シタルモノナリ其外
ニ是迄百乃至四百ヲ燒キタル殘塊ヲ饅頭形ニ堆積シ是ニ石灰ヲ振り掛ケタルモノ二十四ヲ
算フ孟道臺ノベストノ病勢ニ關スル談話ハ避病舎及屍體燒却場ノ模様ニ鑑シ眞實ニ近キ
モノト認メラル云々

三十二、左ノ通報ニ接セリ (三月十日)

在浦潮總領事ヨリ外務大臣ヘノ報告ニ依レハ沿黑龍江總督府管内ベスト病豫防ノ爲露清
國境警備トシテ左記譯文ノ通り措置ヲ採ル趣同市發刊半官報ニ掲載セリ

三十三、譯文ニ接セリ (三月十日)

哥薩克兵中佐「ジェリヤーシン」氏ヲ琿春區域ノ國境配置兵長官ニ任命シ且左記ノ場所ニ
監視所ヲ配置セリ
「ウラヌ」エ連村「サレヤチー」派ドゴルナヤ韓罕「アタシ」(琿春ノ東北)琿春檢疫所琿春
哨兵所各監視所ニ於テ數名ノ將校及十名乃至二十名ノ哥薩克兵ヲ派シ尙斥候兵ヲ出シ國境

ヲ常ニ警備セシム醫務檢疫所ヲ韓罕及琿春ニ設置シ清國人ニ對シテハ健康診斷及檢疫ヲ
施行シタル后露領ニ入ルコトヲ得セシム其他ノ地點ヲ經由シテ露領ニ入ルハ之ヲ絕對的
ニ禁止セリ

三十三、左ノ通報ニ接セリ (三月十日)

在吉林領事ヨリ外務大臣ヘノ報告ニ依レハ同地ニ於ケルベスト病勢ハ別段ノ變化ナク二
月廿一日ヨリ同二十八日迄八日間ノ死者六十九名初發以來死者合計三百十六名ナリ

三十四、左ノ通報ニ接セリ (三月十日)

本月七日在哈爾濱帝國總領事館ノ調査ニ依ルニ同領事館管内ベスト初發以來三月五日マ
テノ死亡總數七千六百六名ニシテ之ヲ東清鐵道附屬地内外及國籍ニ依リ細別スレハ同附屬
地中哈爾濱千四百九十二名内露國人四十三名日本人二名佛國人一名其他ノ附屬地百十一
名内露國人一名傳家甸四千九百四十八名内日本人二名以上外國人ノ外ハ總テ清國人ナリ
又右期間中在齊々哈爾濱領事館管内東清鐵道附屬地内ノ死亡總數五百四名在長春領事館管
内同附屬地内五十一名ナリ

三十五、左ノ報告ニ接セリ (三月十日)

大連支部魏子嵩出張所管内老爺廟街會大李屯及隨家屯監視哨所ニ守備隊兵員ヲ都合テリ
三月八日閉鎖シ更ニ魏子嵩沿岸ハ一箇所ノ監視所ヲ設ケ三月九日ヨリ開始セリ

三十六、左ノ報告ニ接セリ(三月十日) 前報ノ如ク、清國管内、旅順、大連、奉天、鐵嶺、開原、昌圖、四平街、公主嶺、長春、鶏冠山、清國管内ノ各地方ニ、消毒隊ヲ派遣シタル結果、孟道、臺ハ目下四郷村落ヘ火葬及死屍始末ノ爲消毒隊ヲ派遣シタルモ、尙患家消毒處分ノ爲八十名ノ消毒隊ヲ別ニ組織シテ十分シテ一隊八名ツ、トシ三四日内ニ消毒藥其他ノ所用品ヲ準備シ四郷各方面ニ出張消毒ヲ施行セシムル筈ナリト云ヘリ

三月十日、清國管内、旅順、大連、奉天、鐵嶺、開原、昌圖、四平街、公主嶺、長春、鶏冠山、清國管内ノ各地方ニ、消毒隊ヲ派遣シタル結果、孟道、臺ハ目下四郷村落ヘ火葬及死屍始末ノ爲消毒隊ヲ派遣シタルモ、尙患家消毒處分ノ爲八十名ノ消毒隊ヲ別ニ組織シテ十分シテ一隊八名ツ、トシ三四日内ニ消毒藥其他ノ所用品ヲ準備シ四郷各方面ニ出張消毒ヲ施行セシムル筈ナリト云ヘリ

ペスト患者日別表

場所	月					初發以來 累計	備考
	三月六日	三月七日	三月八日	三月九日	三月十日		
旅順(都督府管内)						二	
大連(都督府管内)						六六	
奉天(都督府管内)		三四				一三	
鐵嶺(都督府管内)						一八九三	内係争地患者六六人
開原(都督府管内)						九二	
昌圖(都督府管内)						五六	
四平街(都督府管内)						一九二	城内及其附近村落ニ發生シタルモノ
公主嶺(都督府管内)						五	
長春(都督府管内)						一九	
鶏冠山(都督府管内)						二二	
清國管内						一〇四	
清國管内						二八〇	
清國管内	一七					二八	
清國管内						一八	
清國管内						二二	
清國管内						二	
清國管内						二	

二二

附
録

備考 一、本表ハ前日迄ノ正午ヨリ當日正午迄分ヲ當日分トシテ計算ス
 二、清國管内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス
 三、清國管内患者數ハ清國官憲ノ通報ニ依ルヲ以テ明確ナラス

合 計	遼 陽	法 庫 門	本 溪 湖	撫 順	金 州
清國管内	都督府管内	都督府管内	都督府管内	都督府管内	都督府管内
五二	五二				
三三	三三				
五一	五一				
七六	七六				
三九	三九				
五〇・八	四七九・一	三三・七	一四・五	一八・一	二八・三
内 日本人 二八 英國人 一 清國人 五〇〇・一	立山驛及遼陽附近支那部落ニ發生シタルモノ		石橋子驛及大嶺驛附近ニ發生シタルモノ		

二二

附 録

法庫門方面ベスト病状報告左ノ如シ

法庫門應管内ベスト病ニ關スル調査ノ囑託ヲ受ケ二月二十四日鐵嶺ヲ出發シ一周ノ上三月四日歸鐵シタリ

一 患者發生ノ狀況

- (一) 大胡家窩棚(鐵嶺法庫界)法庫門ヨリ歸來セシモノニシテ清曆正月十七日發病シ次テ一家十九名計二十名死亡セリ
- (二) 猴家溝(法庫門ヨリ東南二十五清里)ニハ患者數名死亡セリト二藁子ノ土人ハ語レリ
- (三) 頭臺子既報十六名ヨリ十四名續發シ三十名トナレリ
- (四) 白家溝清正月十六日昌圖ヨリ來リシ旅人宿屋ニテ發病シ十二名死亡
- (五) 小塔(通江口ヨリ西北二十清里法庫門ヨリ四十五清里)正月十六日八面城ヨリ來リシ旅人發病シ次テ一家十六名死亡計十七名
- (六) 孫家屯(小塔ヨリ二十五清里)小塔ヨリ歸來セシ者ヨリ傳染シ旬日ニシテ七十名死亡
- (七) 高家屯(孫家屯ヨリ六清里)正月十三日法庫門ヨリ來リシ旅人死亡次テ同主人ニ傳染シ妻女ニ及ヒ一家二名死亡計三名
- (八) 李家窩棚(法庫門ヨリ西北百清里康平縣ヨリ西北六十清里)正月十八日北方ヨリ歸來セシ家人發病シ一家ヲ全滅シ次テ隣家ヲ侵シ一家十七名全部死亡尙死屍ハ家内ニ放置シアリ
- (九) 四臺子(法庫門ヨリ西十五清里)法庫門ヨリ歸來セシ者ヨリ傳染シ二名死亡

(十) 頭家屯(法庫門ヨリ西五清里)泉眼ヨリ歸リシ者發病二名死亡
(九) 大泉眼(法庫門ヨリ西三清里)無數ニシテ計上シ難シ
康平縣城内ニ七八名ノ病没者アリト云フ

二、交通遮断ノ状況

(一) 調兵山、頭家屯、小塔、四臺子ニハ巡警ヲ派シ交通遮断ヲナシ居レリ
(二) 法庫門ニハ城内ニ巡警ヲ派シ外人ノ外ハ入城出城ヲモ不許
康平縣ニテハ城門ニ巡警ヲ派出シ行人ノ衣服ヲ検査シ藥品ノ有無ヲ調ヘ居レリ
(三) 村落ノ全部ハ官憲ノ命令ニテ外出ヨリ歸省セシモノハ田畝中ニ小屋ヲ設ケ五日隔離シタル後ニ家内ニ入ル、コ
ト、セシニ不拘實行セシモノハ高家窩棚一村ノ外ナシ
(四) 各沿道ニテ特産物輸出馬車ヲ見タルコトナシ農家ハ肥料ノ手入モ着手セズ徒食シ居レリ
(五) 流布セラレシ謠言

(一) 白家溝ニテハ患者八名ヲ患者女親カ針ヲ用ヒ靴底ヲ以テ身體ヲ打テ全治セシメタリ故ニ藥品ノ用ナシト言ヒ居
レリ
(二) 小塔ニテ巡警カ斯ク病氣傳染スルハ外人カ電氣ヲ用ヒテ清人ヲ殺サントセシモノナリト云ヘリ
(三) 猴家屯ニテハ外人カ清人ヲ二箇月八百圓ニテ雇用シ井戸ニ毒ヲ注キタルモツナリ
(四) 張家窩棚(康平縣ヨリ北西六十清里)ニ泊シ内蒙古ニ赴キタル猿廻シ三名ハ蒙古人ニ捕ハレ取調ヘラレタルニ
張家窩棚附近七箇村ノ地圖ヲ持チ居タルヲ聞知シ張家窩棚村民ハ井戸ニ投毒セシヤヲ疑ヒ七箇村ノ井戸替ヲ爲セ
シニ張家窩棚ノ井戸中ヨリ丸藥三個出テタリト事ナリシモ村民ノ一人ハ毒藥ナルコトヲ信セス一個ヲ嚙下シタ

ルモ何事モ無ク一ノ笑話ニ終レリト

隔離所收容者人員表

本表ハ隔離所ノ名稱ヲ隔離病舎、隔離所、停留所ノ三種ニ決定セラレタル結果改正ノ必要アリ目下調査中ニ付追
テ掲表スヘシ

明治四拾四年四月拾二日 接獲

文書 警務局

受第 9 / 168 號

第一課

松

奉天

七時五分

臨時防疫部長

第二部長

四月七日 夜 二時

今回流行ノペーストハ其潜伏期間五日以上ニ涉
ルモノ稀トシテ且管内ニ於テ客月二十日以來
新患者ノ發生ヲ管外ニ於テモ極メテ少數ナ
ルヲ以テ幾分其制限ヲ緩メ交通上ノ利便
ヲ圖ルノ必要ヲ認メ其停止期間短縮ノ件
左ノ通り各支都出張所長ニ通牒セリ右

ハ北里博士ニ同意セラレタリ
一月十六日府令 臨時第一號ニ依リ停止シタル者
ハ目下病勢衰退ニ付テ當分内滿五日間ヲ
経テ異常無キ時ハ解放セラルル但付染
病豫防規則ニ依リ隔離期間ト混同セサ
ルヲ要ス

明治四拾四年四月八日 接受

主官 政務局

第 8928 号

第一課 係

四月六日午後一時五分奉天
六時十五分發町

同多知督府臨時防疫部防疫部長

血 白

拓殖局臨時防疫部宛
電文譯

自

京奉線ハ五日ヨリ一二等客來車券
ヲ發賣シ總テ健康證明書ヲ要
セサルモ二等客ハ山海關ニテ一週間
停留ス一等ハ午前九時二等ハ午前五
時奉天ヲ發車スト云フ。

ベスト患者日報

明治四十四年四月三日

地方別	性	關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘	要
		日本人	支那人	日本人	支那人		
旅順	女	二	二				二名共大連ヨリ來レル苦力村落ニテ發生シタルモノ
旅順	男	二	二				一月二十日以降發生ナシ
大連	女	六	六				二月七日以降發生ナシ
大連	男	六	六				二月七日以降發生ナシ
金州	女	三	三				二月六日以降發生ナシ
金州	男	三	三				二月六日以降發生ナシ
遼陽	女	二	二				立山驛附近ノ支那村落ニ發生ス最近ニ遼陽附近ノ村落(遼陽ノ西側)一里中楊林子ニ發生シタルモノ
遼陽	男	二	二				下段ノ内係争地累計六六
奉天	女	一	一				一八七
奉天	男	一	一				一八七
鐵嶺	女	一	一				一八七
鐵嶺	男	一	一				一八七
開原	女	一	一				一八七
開原	男	一	一				一八七
法庫門	女	一	一				一八七
法庫門	男	一	一				一八七
昌圖	女	一	一				一八七
昌圖	男	一	一				一八七
四平街	女	一	一				一八七
四平街	男	一	一				一八七
公主嶺	女	一	一				一八七
公主嶺	男	一	一				一八七
地方別	性	關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘	要
長春	女	一〇	五				上段累計ノ内一ハ郭家店驛ニ於テ發生シタルモノ
長春	男	一〇	五				二二
撫順	女	一	八				城内及城南ノ村落ニ發生ス最近ニ昌圖驛附近ニ發生ス
撫順	男	一	八				一七五
本溪湖	女	一	七				一七五
本溪湖	男	一	七				一七五
雞冠山	女	一	一				石橋子驛附近ニ一其ノ他ハ大嶺驛附近ニ發シタルモノ
雞冠山	男	一	一				二月六日以降發生ナシ
合計	女	二二	二八				一月十六日以降發生ナシ
合計	男	二二	二八				四七三二
總計		五二	二四九				二八九
總計		五二	二四九				二八九

備考 一 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
 二 奉天清國管内累計ノ内ニ日本人二朝鮮人六英國人一、ヲ合ムハ即ハ朝鮮人ヲ示ス

ペスト患者日報

明治四十四年四月二日

地方別	性		關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	男	女	計	累計	計	累計	
旅順	1	0	1	2	0	0	二名共大連ヨリ來レル苦力村落ニラ發生シタルモノノ一月二十日以降發生ナシ
大連	6	0	6	6	0	0	二月七日以降發生ナシ
金州	3	0	3	3	0	0	二月六日以降發生ナシ
奉天	1	1	2	2	0	0	立山驛附近ノ支那部落ニ發生ス最近ニ遼陽附近ノ法隆驛ノ四圍ニ學生校子ニ發生シタルモノ
鐵嶺	1	0	1	1	0	0	下段ノ内係等地理計六六
開原	1	0	1	1	0	0	
法庫門	1	0	1	1	0	0	
昌圖	1	0	1	1	0	0	城内及城南ノ村落ニ發生ス最近ニ昌圖驛附近ニ發生ス
四平街	5	0	5	5	0	0	
公主嶺	3	0	3	3	0	0	上段累計ノ内一ハ郭家店驛ニ於テ發生シタルモノ
地方別	性		關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	男	女	計 <td>累計</td> <td>計</td> <td>累計</td>	累計	計	累計	
長春	1	0	1	105	0	0	
撫順	1	0	1	18	0	0	
本溪湖	1	0	1	17	0	0	石橋子驛附近ニ一其ノ他ハ大嶺驛附近ニ發生シタルモノノ二月六日以降發生ナシ
雞冠山	1	0	1	1	0	0	一月十六日以降發生ナシ
合計	22	1	23	233	0	0	
總計	22	1	23	233	0	0	

備考 一 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
二 奉天清國管内累計ノ内ニ日本人ニ朝鮮人六、英國人一、ヲ含ム△印ハ朝鮮人ヲ示ス

關東都督府

ペスト患者日報

明治四十四年四月五日

地方別	性		關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	日本人	支那人	計	日本人	支那人	計	
旅順	1	2	3				二名共大連ヨリ來レル苦力村落ニテ發生シタルモノ 一月二十日以降發生ナシ
大連	6	6	12				二月七日以降發生ナシ
金州	3	3	6				二月六日以降發生ナシ
遼陽	1	1	2				立山縣管内支那部落ニ發生ス最近ニ遼陽附近ノ村落ニ發生シタルモノ
奉天	1	2	3				下段ノ内係争地累計六六
鐵嶺	1	1	2				一八七
開原	1	1	2				一三五
法庫門	1	1	2				一三四
昌圖	1	1	2				一七五
四平街	1	1	2				一七五
公主嶺	1	1	2				二三
長春	1	1	2				一〇五
撫順	1	1	2				一〇二
本溪湖	1	1	2				五八
雞冠山	1	1	2				一七
合計	22	28	50				石橋子附近ニ一具ノ他ハ大連附近ニ發生シタルモノ 二月六日以降發生ナシ 一月十六日以降發生ナシ
總計	52	49	101				

備考 一 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
二 奉天清國管管内累計ノ内ニ日本人ニ朝鮮人六、英國人二、ヲ含ム△印ハ朝鮮人ヲ示ス

關東都督府

ペスト患者日報

明治四十四年四月六日

地方別	性		關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	日本人	支那人	計	日本人	支那人	計	
旅順	1	1	2	0	0	0	二名共大連ヨリ來レル苦力村落ヲ發生シタルモノ 一月二十日以降發生ナシ
大連	6	0	6	0	0	0	二月七日以降發生ナシ
金州	3	0	3	0	0	0	二月六日以降發生ナシ
遼陽	0	0	0	0	0	0	立山縣附近ノ支那部落ニ發生ス最近ニ遼陽附近ノ村落(遼陽ノ四圍一里半楊林子)ニ發生シタルモノ
奉天	1	1	2	0	0	0	下段ノ内係争地累計六六
鐵嶺	0	0	0	0	0	0	
開原	0	0	0	0	0	0	
法庫門	0	0	0	0	0	0	
昌圖	0	0	0	0	0	0	城内及城南ノ村落ニ發生ス最近ニ昌圖縣附近ニ發生ス
四平街	0	0	0	0	0	0	
公主嶺	0	0	0	0	0	0	上段累計ノ内一ハ郭家店驛ニ於テ發生シタルモノ
地方別	性		關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	日本人	支那人	計	日本人	支那人	計	
長春	1	0	1	0	0	0	
撫順	1	0	1	0	0	0	
本溪湖	1	0	1	0	0	0	石橋子驛附近ニ一虫ノ他ハ大當騎附近ニ發生シタルモノ 二月六日以降發生ナシ
雞冠山	1	0	1	0	0	0	一月十六日以降發生ナシ
合計	11	1	12	0	0	0	
總計	5,249	1	5,250	4,942	308	5,250	

備考 一 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
二 奉天清國管内累計ノ内ニ日本人ニ朝鮮人六、英國人一、ヲ合ム△印ハ朝鮮人ヲ示ス

關東都督府

通

ペスト患者日報

明治四十四年四月七日

第一

直

地方別	關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	日本人	支那人	日本人	支那人	
旅順	二名其大連ヨリ來レル苦力村落ニ テ發生シタルモノノ 一月二十日以降發生ナシ
大連	二月七日以降發生ナシ
金州	二月六日以降發生ナシ
遼陽	立山附近ノ支那部落ニ發生ス最近ニ遼陽附 近ノ村落(遼陽ノ西側)一里半松林子ニ發生シ タルモノ
奉天	下段ノ内係争地累計六六
鐵嶺
開原
法庫門
昌圖	城内及城南ノ村落ニ發生ス 最近ニ昌圖附近ニ發生ス
四平街
公主嶺	上段累計ノ内一ハ郭家店驛ニ於テ 發生シタルモノ
地方別	日本人	支那人	日本人	支那人	摘要
長春
撫順
本溪湖	石橋子附近道ニ一具ノ他 附近ニ發生シタルモノ 二月六日以降發生ナシ
雞冠山	一月十六日以降發生ナシ
合計
總計

備考 一 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其數ハ清國官報ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
二 奉天清國管内累計ノ内ニ日本人ニ朝鮮人六、英國人一、ヲ含ム△印ハ朝鮮人ヲ示ス

ベスト患者日報

明治四十四年四月八日

第二十三号

地方別	關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	日本人	支那人	日本人	支那人	
旅順	12	0	0	0	二名其大連ヨリ來レル苦力村落ニシテ發生シタルモノ 一月二十日以降發生ナシ
大連	66	0	0	0	二月七日以降發生ナシ
金州	3	0	0	0	二月六日以降發生ナシ
遼陽	0	0	0	0	
奉天	22	0	0	0	立山縣附近ノ支那村落ニ發生ス最近ニ遼陽附近ノ利源(遼陽ノ西南)ニ發生シタルモノ 二月六日以降發生ナシ
鐵嶺	0	0	0	0	
開原	0	0	0	0	
法庫門	0	0	0	0	
昌圖	0	0	0	0	
四平街	5	0	0	0	城内及城府ノ村落ニ發生ス最近ニ昌圖縣附近ニ發生ス
公主嶺	3	0	0	0	上段累計ノ内一ハ郭家店驛ニ於テ發生シタルモノ
地方別	102	0	0	0	
性	男	女	男	女	
關東都督府管内患者	102	0	0	0	
清國管轄内患者	0	0	0	0	
日本人	102	0	0	0	
支那人	0	0	0	0	
外國人	0	0	0	0	
合計	102	0	0	0	
性	男	女	男	女	
關東都督府管内患者	102	0	0	0	
清國管轄内患者	0	0	0	0	
日本人	102	0	0	0	
支那人	0	0	0	0	
外國人	0	0	0	0	
合計	102	0	0	0	
長春	105	0	0	0	
撫順	18	0	0	0	
本溪湖	18	0	0	0	
雞冠山	1	0	0	0	石橋子驛附近ニ一其ノ他ハ一嶺驛附近ニ發生シタルモノ 二月六日以降發生ナシ
合計	142	0	0	0	
性	男	女	男	女	
關東都督府管内患者	142	0	0	0	
清國管轄内患者	0	0	0	0	
日本人	142	0	0	0	
支那人	0	0	0	0	
外國人	0	0	0	0	
合計	142	0	0	0	

備考 一 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患ヲ計上ス其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明慎ナラス
二 奉天清國管内累計ノ内ニ日本人ニ朝鮮人六、英國人一ヲ含ム△印ハ朝鮮人ヲ示ス

關東都督府

明治四十四年四月拾日 發受 主官 政務局

朝鮮警乙第二三六號

清國軍艦來往ノ件 通牒

明治四十四年四月五日 朝鮮駐劄憲兵隊長司令官 明石元二郎

外務大臣伯爵小村壽太郎殿

四月五日 義外憲兵隊長電報名告

第 門 第 項 號

四月三日電報ノ清國軍艦ハ因テ
板海東縣ニ入港艦名「ベニア」號噸數
二百噸乘組員二十四五名ナリ制
服ヲ着ケサルモ水兵ナル見込ナ
リ目的ハ支那ジャンクニ對スル防

四月十四日 録編纂接受
四月十四日 録編纂接受
四月十四日 録編纂接受

護視察ノ為ナリト尚一隻ノ稍
大ナル軍艦龍岩浦沖ニ碇泊シテ
以上ノ軍艦ハ芝罘方面ヨリ來
航セリ
以上及報告候也

(註) 此砲艦二隻ハ日清協同防護實行ノ為ノ來リタル

本件報告 通牒先

外務大臣 海軍大臣 陸軍大臣
強毅大臣 外務局長

村井

秘受第168號

明治四十四年四月五日

血

了

外三教(一) 陸

明治 9 年 11 月 11 日 地 華
日 發 瑞

主 管

吉

電送第九〇七號平
明治九年十一月十一日

夏

在 京

内 田 大 使

大 臣

本年一、二月、以海峽及北婆羅
方海之於一、時、福臨、極、大、事
外務省

三月、入、り、初、發、一、段、之、旅
ハ、南、海、海、峽、地、に、於、て、ハ、今
月、廿、二、日、以、來、純、正、新、患、者、ノ、發
生、ヲ、見、ス、其、他、ノ、各、方、向、に、於、て、モ
比、今、迄、ト、終、端、ノ、決、然、ナ、リ
右、傳、説、に、於、て、在、臨、各、大、使、ニ
轉、答、アリ、タ、リ

3-2597

0363

明治四拾四年四月拾日 據

主務政務局

第一課

9246 號

佐 田

南滿洲に於ける停留所開始ノ件

譯文

四月九日午後一時五分 奉 王 貴

五時五分 奉 王 貴

臨時防疫部長

拓殖司第二部長

奉



来ル四月十日ヨリ遼陽、草河口、秋木、庄、に於
ケル停留所ヲ開始シ、從來乗車ヲ制限
ニアリシ清國人(朝鮮人ヲ含ム)ヲ五日間停留
上輸送スルコトセリ

明治四拾四年四月拾壹日接受

主務政務局

受第 931 号

第一課

山

慶北月十日午後四時四十分至
若北月十日午正四時十分發町

開通部報告府管時時慶部

振込向第二部長宛

電文譯

清國人及朝鮮人二等乗客その他
乗客ト混乗セラルコトニ大連慶
才三列車ハ今日ヨリ其他ハ明日ヨ
リ実施ス。

明治四拾四年四月拾四日接覽

主官 政務局

第 961 号

秋

茂 四月十三日午後零時至五分 奉天司
着 四時廿分 蔡町司

示ニ部長

臨時防疫部庶務課長

電文譯

(一三八)大連支那大房身停留所勤務匠務
助手並木熊太郎(右備陸軍三等看護長)全
所收容中全病ニ感染セシニ付主治匠一名
看護婦三名ヲ付切ラシメ且ツ阿部村士ヲ
急派シ血清注射其他種々手當ヲ盡セシテ

依り
依り

昨朝遂ニ死セリ全人ハ月俸五十四ノ所一昨
日百四ニ増給シ尚追テ三年法律三三号ニ
依リ遺族扶助料及吊祭料ヲ支給スル事
右ハ先例ニ依リ公表セス由合ミアリタシ

抄

明治四拾四年四月拾四日接受

警務局

第9644号

第一課

拾五

五

著

四月十三日午後一時五十分奉天局

台付四十七分奉天局

関東都督府臨時防疫部防疫課長

拓殖局才六部長宛

重文譯

二二九昨日才七一九永田九三三大連二
入港火房身停留所へ收容、際苦力
一名略血本日真正、ハストト決定ス本
件ハ先例ニ依リ公表ス。

昭和四十四年四月十四日

明治四拾四年四月拾四日接受

警政務局

第一課

受第 9645 號

京奉線乘客輸送制限解除ニ関スル件

北段 四月十日午後五時迄力

奉天局

着

十時迄力

奉天局

臨時防疫部庶務課長

第二部長

電文譯

六日京奉線乘客取扱ノ件電報ニタカ右
ノ中二等客取扱ノ件ハ誤リテ一等客ノ
外ハ取扱ハ凡旨交渉使ヨリ通知アリタ

明治四拾四年四月拾四日接受

警務局

受第 9649 號

第一號

吉野

南滿洲州管内ノ患者ノ發見表累計表 四月十四日調
附 四月十三日新患者數

場所	管内ノ患者		四月十三日新患者
	管内	管内外ノ患者	
長春	115	2,488	管内 新患者 十三日 管内外 新患者 十三日 管内 新患者 十三日 管内外 新患者 十三日 管内 新患者 十三日 管内外 新患者 十三日 管内 新患者 十三日 管内外 新患者 十三日 管内 新患者 十三日 管内外 新患者 十三日 管内 新患者 十三日 管内外 新患者 十三日 管内 新患者 十三日 管内外 新患者 十三日 (奉天防疫院看護人)
公主嶺	11	10	
四平街	4		
昌圖		185	
法庫		146	
開原	2	56	
輝南		98	
奉天	13	2,026	
遼陽		32	
撫順	20	1,65	
五山		6	
大石橋		1	
荒地嶺	1		
本溪湖	1	17	
金州	3		
格順	2		
大連	67		
合計	239	5,130	

管内局臨時計段人係調査

3-2597

0369

ペスト患者日報

明治四十四年四月九日

地方別	性		關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	日本人	支那人	計	日本人	支那人	計	
旅順	1	2	3				二名共大連ヨリ來レル苦力村落ニシテ發生シタルモノ 一月二十日以降發生ナシ
大連		6	6				二月七日以降發生ナシ
金州		3	3				二月六日以降發生ナシ
遼陽							立山縣附近ノ支那村落ニ發生ス最近ニ遼陽附近ノ村落ノ西側一里半程林ノニ發生シタルモノ
奉天		2	2				下段ノ内係争地累計六六
鐵嶺		1	1				
開原		2	2				
法庫門		1	1				
昌圖							城内及城南ノ村落ニ發生ス最近ニ昌圖縣附近ニ發生ス
四平街		5	5				上段累計ノ内一ハ郭家店驛ニ於テ發生シタルモノ
公主嶺		3	3				
地方別	性		關東都督府管内患者		清國管轄内患者		摘要
	日本人	支那人	計	日本人	支那人	計	
長春		1	1				
撫順		1	1				
本溪湖		1	1				石匣子驛附近ニ一其ノ他ハ 附近ノ發シタルモノ 二月六日以降發生ナシ
雞冠山		1	1				一月十六日以降發生ナシ
合計	5,249		5,249	4,733	506	5,239	

備考 一 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患者ヲ計上ス其ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明確ナラス
二 奉天清國管内累計ノ内ニ日本人二朝鮮人六英國人一ヲ含ム△印ハ朝鮮人ヲ示ス

國

ペスト患者日報

明治四十四年四月十日

第一課

山田

地方別	性		日本人		支那人		外国人		計	摘要
	男	女	男	女	男	女	男	女		
旅順	1	2	1	1	0	0	0	0	3	二名共大連ヨリ來レル苦力村落ニシテ發生シタルモノ 一月二十日以降發生ナシ
大連	0	6	0	6	0	0	0	0	6	二月七日以降發生ナシ
金州	0	3	0	3	0	0	0	0	3	二月六日以降發生ナシ
遼陽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	立山縣附近ノ支那村落ニ發生ス最近ニ遼陽附近ノ村落ノ四府一里牛橋子ニ發生シタルモノ
奉天	0	2	0	2	0	0	0	0	2	下段ノ内係争地累計六六
鐵嶺	0	1	0	1	0	0	0	0	1	
開原	0	2	0	2	0	0	0	0	2	
昌圖	0	1	0	1	0	0	0	0	1	城内及城南ノ村落ニ發生ス最近ニ昌圖縣附近ニ發生ス
四平街	0	5	0	5	0	0	0	0	5	
公主嶺	0	3	0	3	0	0	0	0	3	上段累計ノ内一ハ郭家店驛ニ於テ發生シタルモノ
地方別	性		日本人		支那人		外国人		計	摘要
長春	0	10	0	10	0	0	0	0	10	
撫順	0	1	0	1	0	0	0	0	1	
本溪湖	0	1	0	1	0	0	0	0	1	石橋子驛附近ニ一其ノ他ハノ嶺驛附近ニ發生シタルモノ 二月六日以降發生ナシ
雞冠山	0	1	0	1	0	0	0	0	1	一月十六日以降發生ナシ
合計	0	28	0	28	0	0	0	0	28	
總計	性		日本人		支那人		外国人		計	摘要
內	0	24	0	24	0	0	0	0	24	
外	0	4	0	4	0	0	0	0	4	

備考 一 清國管轄内患者ハ南滿鐵道ニ接近シタル主要地ノ患ハソ計上ハ其數ハ清國官憲ノ通報ニ係ルモノナルヲ以テ明瞭ナラス
二 奉天清國管内累計ノ内ニ日本人ニ朝鮮人六、英國人一ヲ含ム△印ハ朝鮮人ヲ示ス

關東都督府

3-2597

0372

明治四拾四年四月拾七日接受

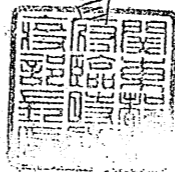
警政務局

受第 9847 號

信

関防第四七九四號
傳留未済三等乗客輸送方並安奉線乗客取扱方等
左記ノ通決定本月十一日ヲ實現施致候以段及通報也
明治四十四年四月九日

関東都府府臨時防疫部長子爵大島義昌



外務省

通知

左記

一 凡 傳留所ノ設備ヨキ停車場ヲ傳留所ノ設備ニ傳
車場ニ行カントスル三等清國人(朝鮮人ヲ含ム)ヲ專用車ニテ
輸送スルコト

前項ノ乗客ハ乗車驛ヨリ直ニ下車駅ニ其負致ヲ電報

通知レ其通知ヲ受ケタル 駅ニ直ニ之ヲ傳留所管理者ニ通知

レ收容上ノ都合ナカラシムルコト

右ハ本支線安奉線共施行ノコト

○ 二 傳留ヲ經ル者ハ本支線安奉線ヲ通レ何レノ場所ニモ汽車旅行
ヲ為スコトヲ得ルコト

三 安奉線乗客ハ従来南行客ハ三等客ヲモ絶対ニ謝絶シ

又北行客ハ三等客ヲモ 駅長承認ノ許ニ乗車セシメ来リレ

處ニ目下ノ状況ニ於テ南行二等客ヲ絶対ニ謝絶スルハ必

要ヲ認メ又北行三等客ハ今後海路其他ヲ入ルハモ

ノ多カレハ後テ相當整修ヲ要スルニ付南行北行共本

線同様二等客ハ 駅長承認ノ許ニ乗車セシメ三等客

ハ傳留ヲ經ルモノノ外絶対ニ謝絶スルコト但シ北行三等

客ハ海路上陸ノ者ハ 全部傳留ヲ要シ其ノ他ノ者

三在テハ 駆長ニ於テ 差支ナシト 認メラル者ハ 乗車セシヨ 然ラサ
 ル者 限リ 停留ヲ 可スルコト
 狭軌区間ニ在リ 依リ 南行北行共並等客一廣軌区
 間ニ等客ニ 相當スル者 限リ 驅長兼認メ許ス
 乗車セシルコト

明治四拾四年四月拾七日 接受
 関防第 四七九三 號

警政務局

第 984 號

本月十日ヨリ 遼陽、草河口、秋木並ニ於ケル 停留所ヲ
 開始シ 従来 乗車ヲ 制限スルニ 清國人(朝鮮人
 含メ)ヲ 五日間 停留ノ 上 輸送スルコト、 致候 右 為 念
 及 通 報 候 也

明治四十四年四月十日

関東都府村臨時防疫部

外務省



3-2597

0375

明治四拾四年四月拾七日接受

警務局

電報譯

四月十五日午後四時五分

在夫表

ノ五付早台 在早表

臨時防衛部庶務課長

拓殖局第二部長

東京



發信人
受信人

受第 9329

號

血 抄 記

(一三七) 本日左ノ通り各支部生員不長ノ部長
余々以テ迎連セリ右ハ世里村士モ同喜セリ
トハストノ際防ノ為メ往來古着襤褸在得
在
紙類在革皮類在麻袋類毛皮類牛骨等
ノ輸入輸送投交等ヲ禁止シタル向アリシ最
早生必要ヲ示スト恩ムルニ付キ禁止シタル向ハ解
除方必斗ヒ其旨報告ス

明治四拾四年四月拾八日 陸軍省 政務局

著 四月十七日午後三時五十分奉天
八時二十四分發所

臨時防疫部

第二部長宛

電文譯

(二三八) 停留清國人三等乘客ト日本
人三等乘客ト混同セシメ差支ナキ事
ニ決定シタリ

第一課

第10049號

江

3-2597

0378

秋。

明治四拾四年四月拾八日接獲

主官 政務局

第10047號

第一課

加藤

江

四月十七日午後五時二十分奉天より
著り 閣下都督府臨時防疫部防疫課長

第二部長宛

電文譯

大房身収容中ノ苦力ニ名昨夜未渡
病本ハ真正ハストト決定ス右ハ十三日
電報セリ第七一九永田丸ヨリ収容ノ患
者ト同船中感患者セリト認ム本件ハ先例
依リ公表セズ